

第11単元 変わり方調べ①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて										
①	50 (各10)	① 4 ② 6 ③ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr><tr><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td><td>12</td></tr></table> ④ $\square \times 2 + 2 = \bigcirc$ ⑤ 式 $20 \times 2 + 2 = 42$ 答 42 (③、⑤は完答)	1	2	3	4	5	4	6	8	10	12	知技 2つの数量の関係を順に調べて表に表すことができる。また、 \square 、 \bigcirc を用いて式に表し、 \square の値から \bigcirc の値を求めることができる。	題意を確認し、図からまわりの長さがどのように変わるかを実際に調べるようにする。表を基に、 \square と \bigcirc の関係を確認する。
1	2	3	4	5										
4	6	8	10	12										
②	50 (各10)	① ウ ② ア ③ イ ④ オ ⑤ エ	知技 2つの数量の関係について、 \square 、 \bigcirc を用いた式の表し方を理解している。	\square や \bigcirc の中に具体的な数を入れることで、 \square と \bigcirc の関係に気づくようにする。										

第11単元 変わり方調べ②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	① ② 何番めかを表す数が1ずつふえると、おはじきの数は4ずつふえる。	思判表 伴って変わる2つの数量の関係について説明している。	図を基に1番めから順に考えさせる。

▶ 思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	2問	1問	0問

▶ 主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容	3項目とも意欲的である。	3項目ともおおむね意欲的である。	どの項目も消極的である。